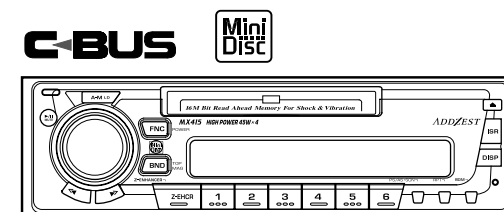


ADDZEST

CD チェンジャーコントロール，AM/FM チューナー付 MD デッキアンプ

MX415

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる場所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、C-BUSで結線されるCDチェンジャーの操作説明も含まれています。(CDチェンジャーをお買い求めの場合、この製品に操作説明書は付属していません)

目次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長	4
ご使用の前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
本体のお手入れについて	8
液晶画面について	8
エラー表示について	8
MDについて	9

本機の使用

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

各部の名称とはたらき

本体部	10
別販リモコン(RCB-130)の使いかた	12

基本の使用

電源を入れる	14
音量を調節する	14
モードを選ぶ	14
時計表示に切り換える	15
時刻を合わせる	15
ラウドネス効果をON/OFFする	16
音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能)	16
音質を調整する	17
バランス/フェダーを調整する	17

ラジオを聴く

ラジオモードを選ぶ	18
音を消す(ミュート)	18
手動選局する(マニュアル選局)	18
自動選局する(シーク選局)	19
プリセット選局する	19
プリセットメモリーする	19
自動メモリーする(オートストア機能)	20
放送局を確かめる(プリセットスキャン)	20
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	21
ISRにメモリーする	21

MDを聴く

MDを入れる	22
MDを取り出す	22
すでに入っているMDを聴く	23
曲を選ぶ	23
早送り/早戻しする	23
演奏を止める(一時停止)	23
最初の曲から聴く(トップ機能)	23
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	24
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	24
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	24
MDのタイトル表示を切り換える	25
MDのタイトルをスクロールさせる	25

外部機器の使用

本機とスピーカーの他に、別製品のCDチェンジャーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

CDチェンジャーを使用する

CDチェンジャーモードを選ぶ	26
聴きたいCDを選ぶ	27
演奏を止める(一時停止)	27
曲を選ぶ	27
早送り/早戻しする	27
聴きたいマガジンを選ぶ	27
最初の曲から聴く(トップ機能)	27
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	28
聴きたいCDを探す(ディスクスキャン演奏)	28
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	29
1枚のCDを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	29
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	29
全CDの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	29

その他

システム例	30
システムアップについて	31
故障と思われる前に	32
エラー表示について	33
仕様	34
アフターサービスについて	35

主な特長

本機は、AM/FM ラジオと MD デッキを一体にし、別販の CD チェンジャーを接続してコントロールできる C-BUS 結線対応のセンターユニットです。

Z-エンハンサー機能

- 3 種類の音質効果メモリーを備え、お好みの音質を即座に設定できます。

ラジオ部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもすぐに選局できる ISR 機能
- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12 局、AM12 局をメモリー
- メモリーした放送局を順番に受信するプリセットスキャン機能

MD プレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 曲の最初の 10 秒間ずつを演奏するスキャン機能
- MD の曲を順不同に演奏するランダム機能
- MD のディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

CD チェンジャーコントロール部(別販の CD チェンジャー接続時)

- 演奏中の曲またはディスク 1 枚を繰り返し演奏するリピート機能
- 全演奏曲または全 CD の 1 曲目の最初の 10 秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1 枚の CD または収納している全 CD の曲を順不同に演奏するランダム機能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■ ご使用の前に

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠ 警告

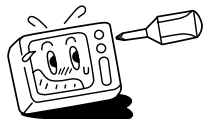
走行中は運転者による操作をしない・・・

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



本機を分解したり、改造しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する・・・

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



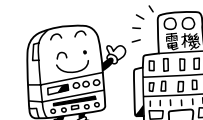
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口へ依頼する・・・

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する・・・

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。



ディスク挿入口に手や指を入れない・・・

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に異物を入れない・・・

火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない・・・

感電やケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない・・・

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



電源を切るときは、音量を最小にする・・・

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



取扱上のご注意

本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

液晶画面について

非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。

常温に戻れば回復します。


液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。

常温に戻れば回復します。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、センターユニットの取扱説明書「エラー表示について」(33ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

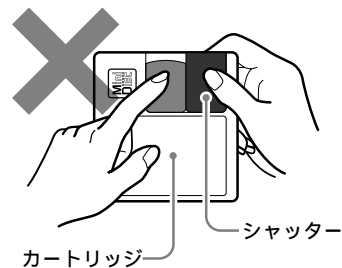
MDについて

 マークのついたMDをご使用ください。

取り扱い上のご注意

直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。

MDのシャッターを手で開けないでください。



ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。

そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

お手入れ

カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

各部の名称とはたらき

本体部

A-M L.D オーディオモードボタン

- 音質やバランス、フェダーの調整モードに切り換えます。
- 押し続けると、低音と高音を強めるラウドネス効果をON/OFFします。

FNC ファンクションボタン

- 電源を入れ、各モードを切り換えます。1秒以上押し続けると、電源が切れます。

Mini Disc リモコン受光部

MUTE プレイ/ポーズボタン

- MDモード、CDチェンジャーモード時に、演奏/一時停止します。
- 音量を一時的に消音します。

ロータリーボリューム

- 時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
- 音質/バランス/フェダーを調整します。

BND バンドボタン

- ラジオモード時は、バンドの切り換えや、自動/手動選局を切り換えます。
- MDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- MDモードでタイトル表示のときに約1秒間押し続けると、タイトルスクロールします。

サーチアップボタン

- ラジオモード時は選局します。
- MDモード、CDチェンジャーモード時は選曲します。また押し続けると早送りします。
- 各種設定時にも使用します。

サーチダウンボタン

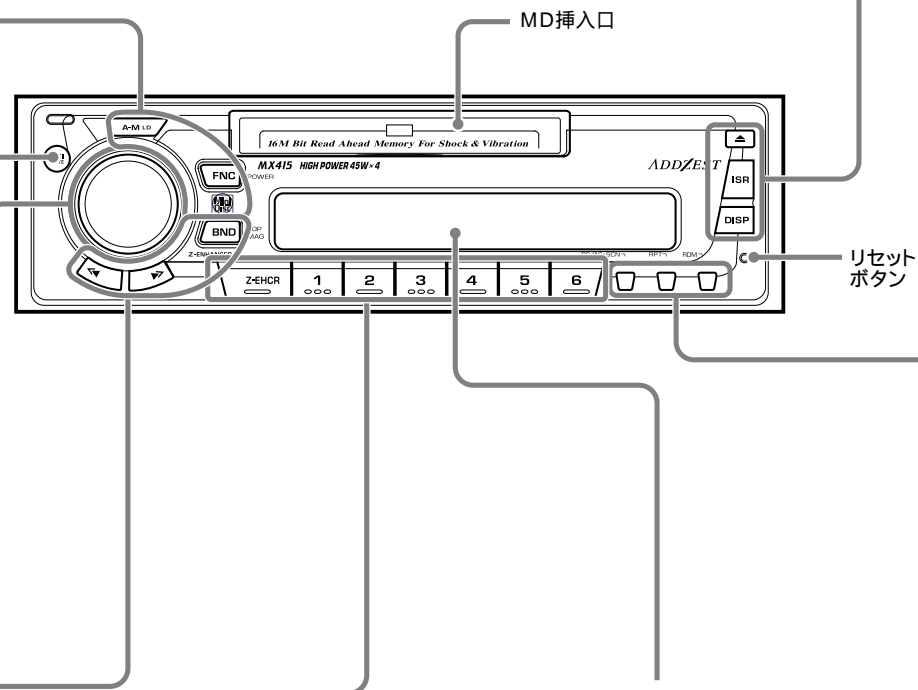
- ラジオモード時は選局します。
- MDモード、CDチェンジャーモード時は選曲します。また押し続けると早戻しします。
- 各種設定時にも使用します。

1 6 **ダイレクトボタン(1 ~ 6)**

- ラジオモード時に、放送局のメモリーや、直接呼び出しをします。
- CDチェンジャーモード時に、CDを選択します。

Z-EHCR **Z-エンハンサーボタン**

- 音質を3段階に切り換えます。



イジェクトボタン

- MDが入っているときに押すと、MDがイジェクトされます。

ISR **ISRボタン (ISR: Instant Station Recall)**

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼びだします。

DISP **ディスプレイボタン**

- 時計表示と選局/演奏状態表示を切り換えます。
- MDモード時に、トラックタイトル表示と、ディスクタイトル表示を切り換えます。

PS/AS+SCN **スキャンボタン**

- MDモード、CDチェンジャーモード時に、10秒間ずつスキャン演奏します。
- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

RPT **リピートボタン**

- MDモード、CDチェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

RDM **ランダムボタン**

- MDモード、CDチェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。

表示部

Z-EHCR **Z-エンハンサー設定時に点灯**

受信周波数表示/演奏モード等を8文字以内で表示

G1 G2 G3 **CDチェンジャー選択時に点灯**

DISC **ディスクスキャン/ディスクリプレイ/ディスクランダム時に点灯**

SCN **スキャン演奏時に点灯 (MDモード/CDチェンジャーモード時)**

RPT **リピート演奏時に点灯 (MDモード/CDチェンジャーモード時)**

RDM **ランダム演奏時に点灯 (MDモード/CDチェンジャーモード時)**

MANU **MANU 手動選局モード時に点灯**

4 5 6 7 8 9 **プリセット選局時に点灯 ディスク選択時に点灯**

本機
の
操
作

■ 各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-130)の使いかた

モードを選ぶ ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → MD → (CDチェンジャー)

押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する ▲▼ ボリュームボタン

音を消す ミュートボタン

ミュート(消音)機能をON/OFFします。
(ラジオモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする スキャンボタン

スキャン演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、CDチェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。
(CDチェンジャーモード時)
プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン)
また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。
解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する リピートボタン

繰り返し演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CDチェンジャーモード時)
解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ISRメモリーを呼出す ISRボタン

ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。
元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

演奏する ▶/|| プレイ・ポーズボタン

演奏と一時停止をします。(MDモード/CDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する/早送り・巻戻しする ◀▶ サーチボタン

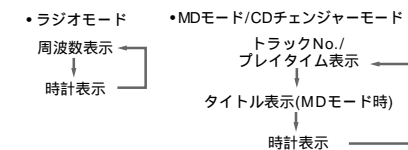
押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。
プリセットチャンネルをアップダウンします。
(ラジオモード時)

次のCDを演奏する/バンドを切り換える/ 最初の曲から演奏する バンドボタン

次のCDを演奏します。(CDチェンジャーモード時)
最初の曲から演奏します。(MDモード時)
受信バンドを切り換えます。(ラジオモード時)

表示を切り換える ディスプレイボタン

次のように表示を切り換えます。



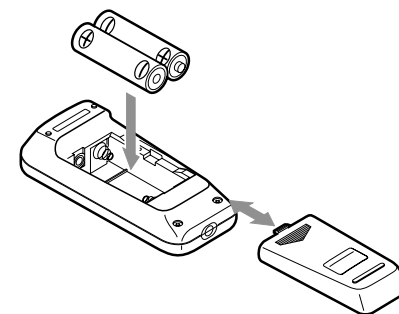
MDモード時のタイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。

ランダム演奏する ランダムボタン

ランダム演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、CDチェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CDチェンジャーモード時)
解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、矢印の方向に裏ぶたをスライドさせます。
- ② 付属の電池(1.5Vの単3形乾電池2個)を図のような向きに入れて、裏ぶたを閉めます。



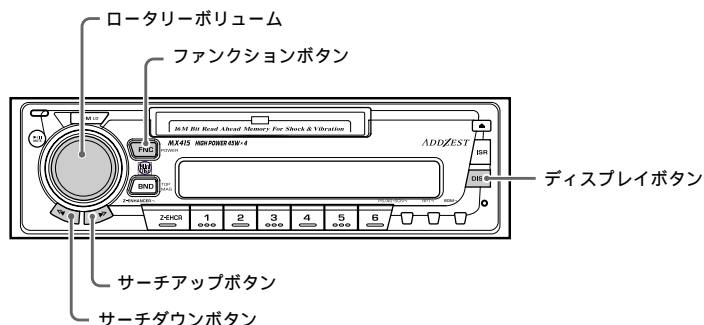
本機
の
操
作

⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・指定電池以外は使用しない。
- ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作



警告
運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてください。また、走行中にピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしないでください。

電源を入れる

1 エンジンがかかる (ACCまたはエンジンONの位置にする)

時計表示になります。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、できるだけエンジンをかけた状態で行ってください。

- 時刻の設定は、「時刻を合わせる」(次ページ)をご覧ください。

2 ファンクションボタンを押す

FNC

前回の電源を切ったときのモードで電源が入ります。

電源を切るには

ファンクションボタンを押し続ける(約1秒間)

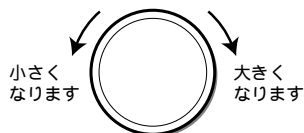
電源が切れ、時計表示になります。

ご注意

音量が大きいときは、小さくしてから電源を切ってください。

音量を調節する

ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回す



調整時に「VOLUME 15」を表示します。



注意
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

モードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ

FNC

ファンクションボタンを押すたびに、次のように切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません。)

ラジオ → MD → (CDチェンジャー)

- MDが入っていないときは「NO DISC」、CDチェンジャーにマガジンが入っていないときには「NO MAGA」を表示します。

時計表示に切り換える

ディスプレイボタンを押す



押すたびに、次のように切り換わります。

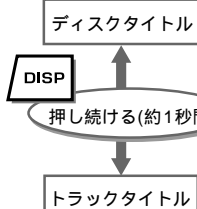
- 時計表示のときは、選局等のボタン操作時に受信周波数等を約4秒間表示した後、元の時計表示に戻ります。

メイン表示

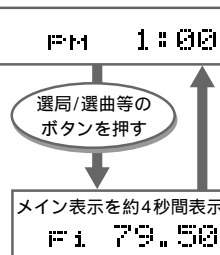
- ラジオモード時
F1 79.50
- MDモード、CDチェンジャーモード時
01 00:01

タイトル表示

- MDモード時



時計表示



時刻を合わせる

時計表示について

車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 ディスプレイボタンを押して、時計表示にする



ご注意

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻調整は解除されます。
- 点検や修理などでバッテリーをはずすと、時計も止まります。もう1度時刻合わせをしてください。
- 電源OFF状態での時計表示のときは、時刻を設定することはできません。

2 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して時刻を合わせる

<時のセット> <分のセット>



サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押すたびに、時または分が進みます。

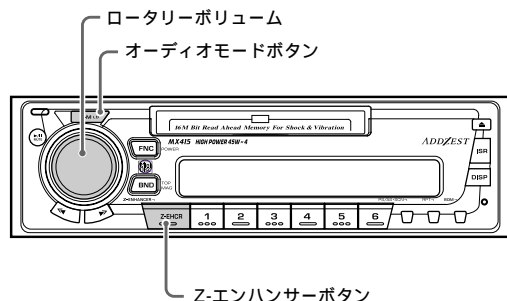
- サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押し続けると、早送りします。

4 ディスプレイボタンを押す



時刻が設定され、元のモードに戻ります。

■ 基本の操作



LOUDネス効果をON/OFFする

小音量でお聴きになるときは

低音を強調するLOUDネスの自然な音質をおすすめします。

オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)

A-M L D

オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)たびに、ON/OFFが切り換わります。LOUDネス効果が「ON」に設定されると、「LOUD ON」が表示されます。

音質を簡単に設定する(Z-エンハンサー機能)

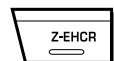
Z-エンハンサー機能について

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- Z-エンハンサー 1: 低音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー 2: 高音を重視したサウンド
- Z-エンハンサー 3: 低音と高音を重視したサウンド

初期設定は「OFF」です。

1 Z-エンハンサーボタンを押す



ディスプレイの「」が点灯し、「Z-EHCR 1」が表示されます。

2 Z-エンハンサーボタンを押して、お好みの音質を選ぶ



Z-エンハンサーボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

Z-エンハンサー1 (Z-EHCR 1)
↓
Z-エンハンサー2 (Z-EHCR 2)
↓
Z-エンハンサー3 (Z-EHCR 3)
↓
Z-エンハンサーOFF (OFF)

- 4秒後に元の表示に戻ります。

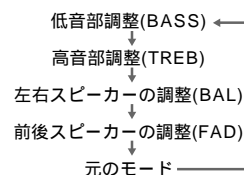
音質を調整する

1 オーディオモードボタンを押して、音質調整(BASSまたはTREB)を選ぶ

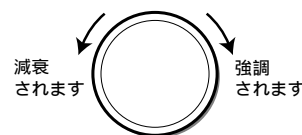
A-M L D

「BASS +3」を表示して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

- 音質調整(BASSまたはTREB)はZ-エンハンサー機能がOFFのときに調整できます。



2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



- 低音部 BASS の調整範囲は、-6 ~ +6です。
- 高音部 TREB の調整範囲は、-6 ~ +6です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

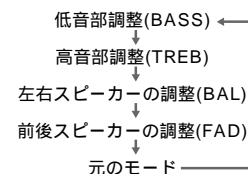
A-M L D

バランス / フェダーを調整する

1 オーディオモードボタンを押して、バランス(BAL)またはフェダー(FAD)を選ぶ

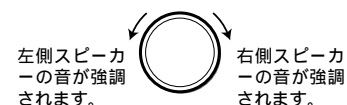
A-M L D

「BASS +3」等を表示して、音質等調整モードになります。オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



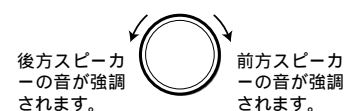
2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

左右スピーカーの調整(BAL)



- 調整範囲は、L9 ~ R9です。

前後スピーカーの調整(FAD)

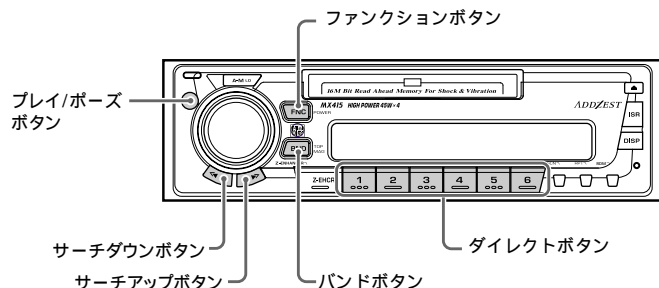


- 調整範囲は、R9 ~ F9です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

A-M L D

本機
の
操
作



ラジオモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



ディスプレイに受信バンドと、周波数 (「F1 82.5」等) を表示します。

ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → MD (CDチェンジャー)

音を消す(ミュート)

プレイ/ポーズボタンを押す



ディスプレイに「MUTE」を表示します。

元の音量に戻すには

もう1度、プレイ/ポーズボタンを押す

「MUTE」が消えて、元の音量になります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ

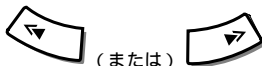


2 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局です。

3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、放送のあるところに合わせる



手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

ステップ選局のときは、サーチアップボタンまたは、サーチダウンボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。

クイック選局のときは、サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

自動選局する(シーク選局)

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ

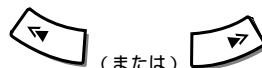


2 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消灯しているときは、自動選局です。

3 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

プリセット選局する

プリセット選局について

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

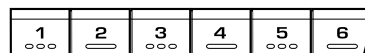
1 バンドボタンを押して、FM1、FM2 または AM1、AM2 を選ぶ



• バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

2 ダイレクトボタン(1 ~ 6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



• ダイレクトボタンにメモリーするときは、次項の「プリセットメモリーする」をご覧ください。

プリセットメモリーする

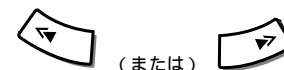
プリセットメモリーについて

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2の各バンドごとに6局ずつ、計24局です。

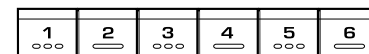
1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(FM1、FM2 または AM1、AM2)を選ぶ



2 サーチアップボタンまたはサーチダウンボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

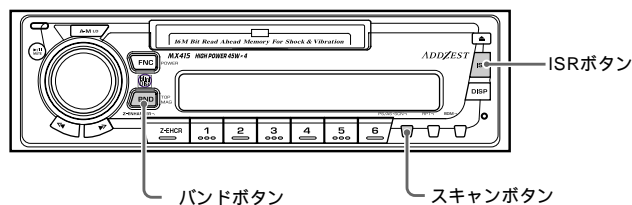


3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1 ~ 6)を押し続ける(約2秒間)



メモリーされると、ディスプレイのプリセット No. (1 等) が点灯します。

■ ラジオを聴く



自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

- 1 バンドボタンを押して、メモリーさせたいバンド (FM1、FM2またはAM1、AM2) を選ぶ



- 2 スキャンボタンを押し続ける (約 2 秒間)



受信電波の強い放送局が、自動的にダイレクトボタン (1 ~ 6) にメモリーされます。

ご注意

- 自動メモリーすると、これまでのメモリー内容は消去されます。
- 自動メモリーは、プリセット6局のメモリーが完了するまで、順にメモリーしていきます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンには、それまでのメモリーが残ります。
- すでにメモリーしている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送局を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

スキャンボタンを押す



プリセットスキャン動作中のプリセットNo. が点灯します。

メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- スキャンボタンを押し続けると (約 2 秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには

もう1度、スキャンボタンを押す。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR 機能)

ISR (Instant Station Recall) 機能について

どのモードからでもすぐに特定のラジオ放送1局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聴きたい情報をすばやく選局できます。

- 工場出荷時にはAM 1,620kHz (交通情報) がメモリーされています。

ISR ボタンを押す



受信バンドと受信周波数 (ISR1620) を表示します。

- ラジオ以外のモードからでも呼び出すことができます。

ISR を解除するには

もう1度、ISR ボタンを押す

元のモードに戻ります。

ISR にメモリーする

- 1 メモリーしたいラジオ局を選局する

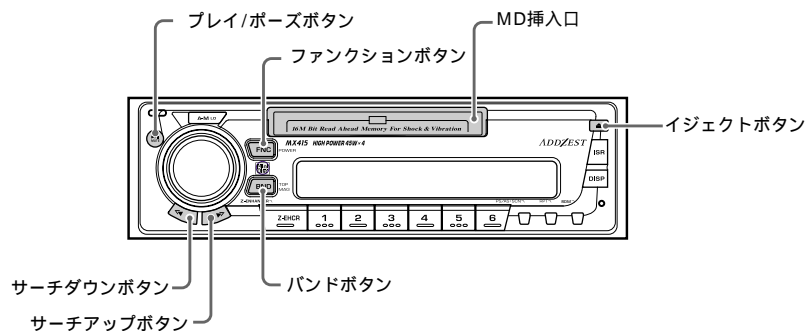
- ラジオの選局については、「18 ~ 19 ページ」をご覧ください。

- 2 ISR ボタンを押し続ける (約 2 秒間)



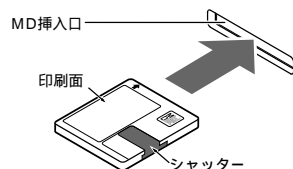
ISR ボタンにメモリーされます。

MD を聴く



MDを入れる

MD挿入口にMDを入れる



MDを入れると、演奏が始まります。

- MDは印刷面を上、シャッターを右側にして挿入してください。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は **Mini Disc** マーク表示の無いIMDは使用できません。
- モノラルモードで録音されたMDは再生できません。

ディスク・イン・プレイ機能について

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

MDを取り出す

イジェクトボタンを押す



MDがイジェクトされます。

- イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。

ご注意

- MDを挿入した直後にイジェクトすると、プレイ動作表示後に「MD Er6」を表示します。この状態ではMDを再挿入できませんので、イジェクトボタンを押してエラー表示を解除してください。

バックアップイジェクト機能について

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、MDを取り出すことができます。

すでに入っているMDを聴く

ファンクションボタンを押して、MDモードを選ぶ



MDモードになると、自動的に演奏がはじまります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → MD → (CDチェンジャー)

- MDが入っていない場合は、タイトル表示部に「NO DISC」を表示します。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチアップボタンを押す

前の曲を聴くときは、サーチダウンボタンを2回押す



- サーチアップボタンを押すと、次の曲を演奏します。さらに押すと、押した回数だけ先の曲を演奏します。
- サーチダウンボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲を演奏します。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチアップボタンを押し続ける

早戻しするときは、サーチダウンボタンを押し続ける



演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



ディスプレイに「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときにはもう1度プレイ/ポーズボタンを押す。

最初の曲から聴く(トップ機能)

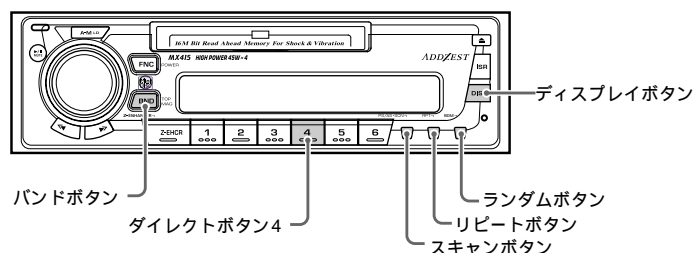
トップ機能について

MDモード時に演奏しているMDの最初の曲から演奏をはじめます。

バンドボタンを押す



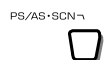
最初の曲(トラック No.1)から演奏します。



聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について
曲の頭を、約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



ディスプレイに「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

スキャン演奏を解除するには
もう1度スキャンボタンを押す。
演奏している曲から通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について
いま演奏している曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



ディスプレイに「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには
もう1度リピートボタンを押す。
ディスプレイの「**RPT**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について
演奏中のMDの全曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



ディスプレイに「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには
もう1度ランダムボタンを押す。
ディスプレイの「**RDM**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

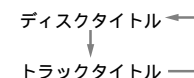
MDのタイトル表示を切り換える

MDのタイトル表示について
MDモードにおけるMD再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルを、本機のディスプレイに表示します。

タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



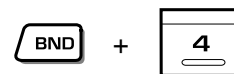
ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。



- タイトルが入力されていないMDの場合は
トラックタイトル: **TITLE**
ディスクタイトル: **TITLE**
と表示されます。

MDのタイトルスクロールモードを切り換える

バンドボタンを押しながらディレクトボタンの4を押す



- バンドボタンを押しながらディレクトボタンの4を押すたびに、「**SCRL OFF**」と「**AUTO**」が切り換わります。
- **SCRL OFF** : 表示変化があったときに1度だけスクロールします。
 - **AUTO** : スクロールを繰り返します。

MDのタイトルをスクロールさせる

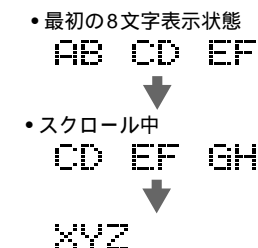
MDのタイトルスクロールについて
MDモードにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているタイトルをスクロールできます。

タイトルが表示されているときに、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



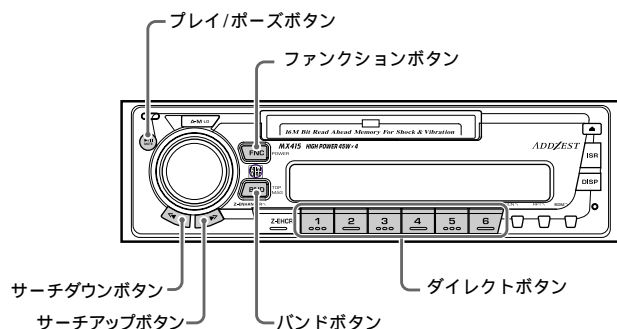
タイトルが左にスクロールします。

タイトル表示例
タイトル名が **AB CD EF GH XYZ** の場合



* タイトルの末尾まで表示すると、最初の8文字表示に戻ります。

CD チェンジャーを操作する



CDチェンジャーについて

本機は、別販のC-BUS結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。1つのマガジンには、6枚のCDを収納できます。

MDチェンジャーについて

本機でMDチェンジャーを使用する場合は、MDチェンジャー本体の切換スイッチを「A」に設定してください。CDチェンジャーモードで使うことができます。詳しくは、MDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

CD-ROMについて

本機で、CD-ROMの操作はできません。

ご注意

- CD-R で録音された CD はご使用になれない場合があります。
- CD-RW で録音された CD はご使用になれません。

CD チェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CDチェンジャーモードを選ぶ

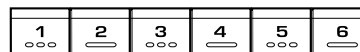
FNC

CDチェンジャーモードになると、自動的にCDの演奏をはじめ、ディスプレイに以下の内容を表示します。

- ①点灯
 - トラックNo./プレイタイム.....
「① 15:25」等を表示
 - ディスクNo.....「1」等を点灯
 - ファンクションボタンを押すたびに、モードが次のように切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)
- ラジオ → MD → (CDチェンジャー)
- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAG」が、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」を点灯表示します。
 - CDが入っていないマガジンのディスクナンバーは飛び越して演奏します。

聴きたいCDを選ぶ

ダイレクトボタン(1 ~ 6)を押す



選択したディスクNo(「1」等)が点灯します。

- マガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCDを選んだときは、そのCDの1曲目に戻って演奏します。

演奏を止める(一時停止)

プレイ / ポーズボタンを押す



ディスプレイに「① PAUSE」を表示します。

演奏を再開するには

もう1度、プレイ / ポーズボタンを押す

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチアップボタンを押す

前の曲を聴くときは、サーチダウンボタンを押す



サーチアップボタンを押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

サーチダウンボタンを押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに、押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチダウンボタンを2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り / 早戻しする

早送りするときは、サーチアップボタンを押し続ける

早戻しするときは、サーチダウンボタンを押し続ける



聴きたいマガジンを選ぶ

バンドボタンを押す



次のマガジンに切り換わり、1枚目のCDの1曲目から演奏します。

マガジンボタンを押すたびに、次のように切り換わります。(CDC1235の例)



最初の曲から聴く(トップ機能)

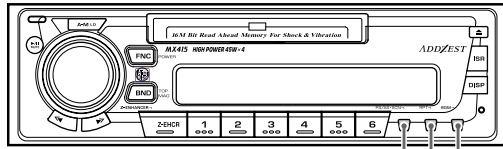
トップ機能について

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

1~6のディスクを演奏しているときは、演奏しているCDと同じ番号のダイレクトボタン(1~6)を押す



CDチェンジャーを操作する

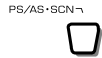


スキャンボタン
リピートボタン
ランダムボタン

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について
CDチェンジャー内のCDの全曲を10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



「**SCN**」が点灯し、演奏している曲の次の曲からスキャン演奏します。

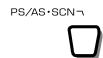
スキャン演奏を解除するには
もう1度、スキャンボタンを押す

「**SCN**」が消灯し、演奏している曲から、通常の演奏になります。

聴きたいCDを探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について
CDチェンジャー内の全CDの最初の曲を、10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



「**DISC**」と「**SCN**」が点灯し、演奏しているCDの次のCDから、ディスクスキャン演奏します。

ディスクスキャン演奏を解除するには
もう1度、スキャンボタンを押す

「**DISC**」と「**SCN**」が消灯し、演奏しているCDから、通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



「**RPT**」が点灯し、リピート演奏します。

リピート演奏を解除するには
もう1度、リピートボタンを押す

「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について
演奏中のCDの曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



「**RDM**」が点灯し、ランダム演奏します。

ランダム演奏を解除するには
もう1度、ランダムボタンを押す
「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

1枚のCDを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について
演奏中のCDを繰り返し演奏します。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



「**DISC**」と「**RPT**」が点灯し、ディスクリピート演奏します。

ディスクリピート演奏を解除するには
もう1度、リピートボタンを押す

「**DISC**」と「**RPT**」が消灯し、通常の演奏になります。

全CDの演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について
CDチェンジャー内のCDの全曲を、順不同に演奏します。

ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

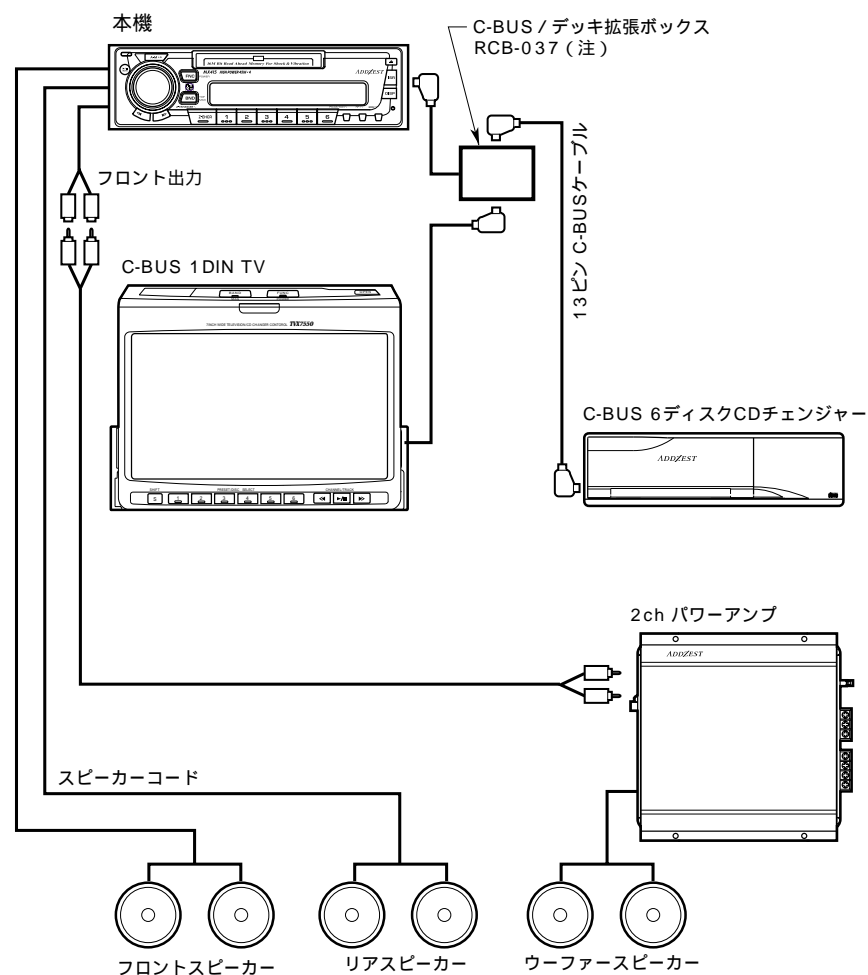


「**DISC**」と「**RDM**」が点灯し、ディスクランダム演奏します。

ディスクランダム演奏を解除するには
もう1度、ランダムボタンを押す

「**DISC**」と「**RDM**」が消灯し、通常の演奏になります。

システム例



注 RCB-037を使用せずにCDチェンジャーと1DINTVを接続することも可能です。この場合、CDチェンジャーのコントロールは1DINTV側で行います。

詳しくは、別添えの『取付説明書』をご覧ください。

システムアップについて

CDチェンジャーとの接続

別販のC-BUS結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CDデッキ、ビジュアルオーディオシステムユニットとの接続

C-BUS結線対応のCDデッキ(注)、ビジュアルオーディオシステムユニットなど、外部機器を操作しているときには本機のディスプレイに「ACCS」と表示されます。

上記機種の動作中、オーディオモードの調整は本機で行います。また、外部機器が動作中でも、ファンクションボタンを押すと本機の動作に切り換わります。

別販C-BUS拡張ボックス(RCB-037)について

CDチェンジャーとC-BUS結線対応のCDデッキ(注)あるいはビジュアルオーディオシステムユニットなどを同時に接続する場合、別販のC-BUS拡張ボックスが必要です。

ただし、C-BUS結線対応のCDデッキ(注)とビジュアルシステムユニットなどを同時に接続することはできません。

(注) 98モデル以前のCDデッキとCDS7455等が接続できます。

ナビゲーションシステムとの接続

ナビゲーションシステムは、本機に接続されるビジュアルオーディオシステムユニットと接続します。

詳しくは、テレビ、ナビゲーションのそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

外部アンプ接続時のご注意

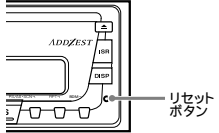
本機に外部アンプを接続してシステムアップする場合には、バッテリーのマイナス端子を外して結線してください。

外部アンプのアースコードは確実に自動車の金属部分に接続してください。接続が不十分だと雑音の原因となるばかりか、接続する外部アンプによっては本機の内部回路を破損する場合があります。

その他

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	症 状	原 因	処 置
共 通	電源が入らない/音がでない	ヒューズが切れている	入っていたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コード、またはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど、接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、ディスプレイが正確に表示しない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを細い棒などで押してください。  リセットボタンを押すとメモリーしたタイトル等が全て消去されます。
ラ ジ オ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
M D	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出してしまう	MDを間違った向きに入れている	イジェクトボタンを押して、MDを取り出してから、MDを正しく入れ直してください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
そ の 他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原 因	対処方法
M D モード時	MD ER2	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDデッキのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	MD ER3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	MD ER6	ブランクディスク（無録音）を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	MD ERH	MDデッキの温度が上がりがすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
C D チェンジャーモード時	CDCH ER2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	CDCH ER3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	CDCH ER6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

その他

仕 様

MDプレーヤー部

周波数特性	: 20 ~ 20kHz ± 2dB
SN比	: 90dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	: 85dB(EIAJ)
高調波ひずみ率	: 0.01%(1kHz)

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度	: 11dB(新IHF)
50dBクワイティング感度	: 18dB(新IHF)
SN比	: 70dB(IHF・A)
周波数特性	: 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
分離度	: 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率(ステレオ)	: 0.4%(1kHz)

AMチューナー部

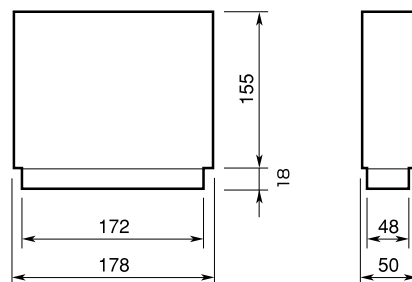
受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度	: 28dB(μ V)
SN比	: 50dB

オーディオ部



定格出力	: 17W × 4(20Hz ~ 20kHz, 1%, 4)
最大出力	: 45W × 4(EIAJ)
トーンコントロール	: BASS ± 13dB(30Hz) TREBLE ± 10dB(10kHz)
適合スピーカーインピーダンス	: 4 (4 ~ 8)
ラウドネスコントロール (音量ステップ)	: + 8dB(100Hz) + 6dB(10kHz)
ラインアウト出力レベル(MD 1kHz)	: 1.8V

共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A(1W時)
ヒューズ定格	: 15A
外形寸法	: 178(W) × 50(H) × 173(D)mm [取付寸法 : 155(D)mm]
質 量	: 1.5kg



付属品

• 取扱説明書	1部
• 取付説明書	1部
• 修理相談窓口リスト	1部
• 保証書	1部
• 電源コード	1本
• サラネジ(M5 × 8) 	4本
• セムス六角ボルト 	5本
• リードクランプ	1本

これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品

アフターサービスについて

保証書

この商品には、保証書が別途添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間

お買い求めの日より 1 年間です。

万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

その他

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ..... ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。